



みんなで力を合わせて、
きのと小

燦 だより

子どもの方をしっかりと向いて、大事に大事に育てましょう

平成28年12月13日
学校だより14号
胎内市立きのと小学校
<http://tainai-ed.nxc.jp/kinoto-es>



子どもとの関わり方 ～子育てを振り返る～

校長 佐藤 新一

12月1日(木)の友だちいっぱいチャレンジワールドは楽しかったです。その後の「子育て講演会」も有意義でした。多数の皆様から参加いただき感謝いたします。講師の工藤様の講演内容をお話や資料から紹介してみます。

親子の関わり方「どう子どもと接する？」

今の世の中、人間関係が希薄化し、子どもたちの自尊感情や自己肯定感の低さが目立つ。今こそ『人』との関わりが大切なのである。

○大人の基本的姿勢として、子どもの理解から進め、信頼関係を築く。認められ、褒められ、愛されて子どもは自信を深め、自尊感情を高める。一人一人違う存在の子どもを大人の価値観で押しつけていないか。効率や結果ばかり求めすぎてはいないか。もっと信じて待つてやる。その子が悪いわけではない。親は試されていると腹を決め、諦めず関わり続けると必ず花は咲く。親に信じてもらった子どもは必ず幸せになれる。また、周囲をも幸せにする存在になる。信じる力はどんな力にも勝る。

○自己肯定感・自尊感情を高めるためには、①子どもの話をよく聴いてあげること、②子どもを勇気付けること、③子どもに意志決定の機会を与えることである。それが自己実現に結びつける力を育てることになる。子どもへの魔法の言葉の一つは、「私の子だから大丈夫だよ。何も心配いらぬよ。」である。



話しかけ方では主語を二人称から一人称、「あなた」から「私」に変えてみる。例えば「あなたはなぜこんなに遅く帰るの」から「私はあなたの帰りが遅くて心配だった」と自分の気持ちを率直に伝えると子どもは話を受け入れる。

○人を育てるのは人しかない。「お前が傍にいてくれるだけで幸せだよ」という気持ちは、親(大人)の言葉と行動でしか伝えられない。どんな時も笑顔で『お前はいい子なんだ。お前がいるから私は幸せだ。だから～してはいけない。』そんな伝え方をしていきたいものである。

今までの子育てができていなくても(他人や過去は変えられないが)、自分と未来は変えられる。人生はいつでもスタートできる。『焦らず、諦めず、温かく』いこう。

私自身、我が子との関わり方を見つめる機会となった子育て講演会でした。



人権週間 12/5～12/9

人権週間は、みんな大事な存在なんだという意識・感覚を育てる週間です。12月の全校朝会では、「今月の偉人」と「人権」のみんな違って当然という話をしました。

生まれた場所がちがったり、体が不自由だったり、思いやりが、勉強が、…。同じ人はいないし、誰にでもでこぼこはあるのです。私もあります。でも、そのでこぼこが大きいとだめなんではいなか、おかしいのでしょうか、それで差別したりするのはどうなのでしょう。

本当に強い人は、人を傷つけたり、馬鹿にしたりしません。他の人のことを考えられる人です。本当の強い人を目指しましょうね。と。

2学期のご支援・ご協力に感謝いたします

各行事、そして子どもたちの成長で彩られた2学期も無事終了できそうです。地域・保護者の皆様ありがとうございました。よいお正月をお迎えください。



1月10日(火)3学期始業式…下校バス11:30…1月の行事予定・下校時刻は始業式に配付します